

政策分析シート（平成30年度）

政策名	人が集う魅力あるまちの形成	政策No	06	部名	産業経済部		
関連部名				部長名	石原	内線	440
行政評価事業体系	分野	産業革新都市					

目的 観光振興を積極的に推進することで、地域経済・産業の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指していく。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	まちの魅力	2.56	2.61	2.59	荒川区は、区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？		
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	観光イベント等入場者数(千人)	118	99	116	120	147	川の手荒川まつり(28年度途中終了)シダレザクラ祭り、
							バラの市、伝統技術展、都電荒川線沿線スタンプラリー、
							産業展(29年度からモノづくり技あり市へ移行)

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	給与関係費	48,965	50,401	1,436	地方税等	0	0	0	
	物件費	23,242	31,377	8,135	国庫支出金	0	6,156	6,156	
	維持補修費	358	0	358	都支出金	3,274	8,005	4,731	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	17,918	18,832	914	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	412	531	119	其他行政収入	1	0	1	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,275	14,161	10,886	
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,358	4,588	230	行政収支差額(a)-(b)=(c)	91,978	91,568	410	
	其他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	95,253	105,729	10,476	通常収支差額(c)+(d)=(e)	91,978	91,568	410	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	91,978	91,568	410	
貸借対照表	勘定科目				勘定科目				
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額		
	収入未済	0	0	0	流動負債	2,531	2,797	266	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	24,223	3,673	20,550	賞与引当金	2,531	2,797	266	
	土地	19,045	0	19,045	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	1,260	0	1,260	固定負債	22,090	17,222	4,868	
	建物減価償却累計額	125	0	125	特別区債	0	0	0	
	工作物等	5,523	5,523	0	退職給与引当金	22,090	17,222	4,868	
	工作物等減価償却累計額	1,480	1,850	370	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	24,621	20,019	4,602	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	9,201	6,909	16,110	
	その他の固定資産	9,599	9,437	162	正味財産の部合計	9,201	6,909	16,110	
	資産の部合計	33,822	13,110	20,712	負債及び正味財産の部合計	33,822	13,110	20,712	

財務諸表に関する特微的事項等

観光振興事業を行っており、給与関係費を除くと約5割が観光案内所等の運営経費を含む物件費で占められている。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>定住人口の回復や増加に向けた取組と並行して、交流人口を拡大することが、地域経済活動を活発にする有効な手段であり、国はもとより全国自治体で観光振興が推進されている。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に、訪日外国人旅行者4,000万人の目標達成に向け、国・東京都はもとより全国自治体で観光振興が推進されている。</p>
課題	<p>区においても、受入環境の充実を図るとともに観光資源の発掘やPRを積極的に行い、交流人口の拡大を図り、にぎわいと活力あるまちづくりを進めることが求められている。</p> <p>さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、国内外から東京へ多くの旅行者の来訪が見込まれる。荒川区にとっても大きなチャンスであることから、他自治体や関係機関等とも連携し、より一層観光振興への取組の拡大を図っていく必要がある。</p> <p>外国人旅行者のニーズが消費型から体験型へシフトしており、多言語対応をはじめとした受入体制が伴った日本の文化や技術を体験することができる場の創出が求められている。</p>
今後の方向性	<p>地域の活性化を図るため、新たな観光資源の発掘、形成などにより、観光振興を推進していく。</p> <p>地域の観光資源を有機的に結び付け、回遊性を高める取組をさらに進めていく。</p> <p>来訪者が安心して快適に楽しめるよう、満足度を高めるハード・ソフト両面の環境整備を進めていく。</p> <p>近隣区や他自治体等との連携を強化し、事業の実施を進めていくとともに、地域団体等民間によるにぎわい創出を支援していく。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催やその後の展開を見据え、外国人旅行者を含めた来訪者の受入体制の整備を促進していく。</p> <p>様々なツールを活用し、区内外へ区の魅力や観光情報を発信していく。</p> <p>懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
観光資源の発掘とにぎわいの創出	重点的に推進	重点的に推進	<p>新たな観光資源の発掘に積極的に取り組むとともに、集客力の高い魅力あるイベントを実施していくことにより、区内外からの誘客を促進し、地域経済・産業の活性化を図ることが期待できることから、当該施策の優先度は高い。</p>
受入体制の充実と観光情報の発信	重点的に推進	重点的に推進	<p>受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策の優先度は高い。</p>